

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公表番号】特表2020-533477(P2020-533477A)

【公表日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2020-535310(P2020-535310)

【国際特許分類】

C 08 F 2/34 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

C 08 F 2/01 (2006.01)

【F I】

C 08 F	2/34	
C 08 F	10/00	5 1 0
C 08 F	2/01	

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月11日(2020.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの相互接続された重合ゾーンを有する反応器中において行われる気相中のオレフィン重合方法であって、第1のゾーンは「上昇管」と呼ばれ、第2のゾーンは「下降管」と呼ばれ、前記成長中のポリマー粒子は：

a) ガスおよび液体の混合物の供給により確立される高速流動条件下において前記上昇管を通じて流動し；

b) 前記上昇管から退出し、前記下降管に進入し、前記下降管を通じて高密度化形態で下方流動し；

c) 前記下降管から退出し、前記上昇管中へ再導入されることで、前記上昇管と前記下降管との間にポリマー循環を確立させ；

前記反応器は、前記上昇管ガスの露点を超える0～5の温度において前記動作圧力において動作され；さらに前記上昇管中において、前記成長中のポリマー粒子およびガス流れに加えて、一定量の液体も存在する、方法。

【請求項2】

前記2つの相互接続された重合ゾーンは、前記下降管の上部中に「バリア流れ」と呼ばれる液体および/またはガス流れを導入することにより、前記上昇管から来た前記ガス混合物が前記下降管に全体的にまたは部分的に進入する事態を回避するように動作され、前記「バリア流れ」の組成は、前記上昇管中に存在する前記ガス状混合物と異なる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記バリアスチームは：

i. 10～100モル%のプロピレンと、

ii. 0～80モル%のエチレンと、

iii. 0～30モル%のプロパンと、

iv. 0～5モル%の水素と、を含む、請求項2に記載の方法。